

令和4年度府中市環境審議会
第1回及び第2回生物多様性地域戦略部会報告

資料8

1 日時

【第1回】令和4年6月15日水曜日 午後6時00分～午後8時00分

【第2回】令和4年7月15日金曜日 午後6時00分～午後7時30分

2 会場

【第1回】府中市役所北庁舎3階第6会議室

【第2回】 同 第1会議室

3 出席委員

【第1回】金子部会長、吉川委員、金本委員、高野委員、江島委員、山田委員、栗原委員、吉武委員、三浦委員

【第2回】金子部会長、吉川委員、金本委員、江島委員、山田委員、青山委員、栗原委員、吉武委員

4 議題

【第1回】

第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について

- (1) (1)「府中市生物多様性地域戦略としての位置づけ」～(5)「目指すべき姿」
- (2) (6)「施策の方向性」～(7)「施策の展開」

【第2回】

第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について

5 議事内容

【第1回】

第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について

ア 内容

前回部会における基本方針2の施策体系及び構成に関する議論、及び令和4年度第1回環境審議会本会にて頂いたご意見を踏まえ作成した基本方針2素案について

イ 主なご意見と事務局対応

No	主なご意見	事務局対応
1	「戦略の背景」や「生物多様性とは」といった説明は方針の最後に持って行き、「府中市の自然環境と生物多様性の現況と課題」から始めた方がわかりやすいのではないか。	他の基本方針の構成もふまえて、資料編に移すなどの方法を検討いたします。

No	主なご意見	事務局対応
2	「生き物同士のつながり」「時間的なつながり」の図が不正確であり、修正が必要。	修正いたします。
3	「府中市の生物多様性俯瞰図」について、生物多様性に貢献している民家の緑も落とし込むべきである。	図の修正作業を予定しており、記載の方法を検討してまいります。
4	「府中市の生物多様性俯瞰図」について、府中市の中だけではなく、周辺地域との生態系のつながりが分かるものにしていくべきである。	図の修正作業を予定しており、周辺の環境とのつながりも伝わるものとなるよう検討してまいります。
5	「府中市の生物多様性俯瞰図」について、緑地の面積や箇所数など、説明があった方がよい。	俯瞰図は単純化したものとする予定のため、種数のデータの修正にて検討いたします。
6	生物の種数のデータの文字が小さく、読んでもらえないのではないかと。	地図の欄外にデータを記載するなど、見やすい掲載方法に修正いたします。
7	生物の種数のデータについては出典を明示し、不正確なデータは用いない方がよい。	データの正確性と出典を再確認のうえ、修正いたします。
8	コラム「エコロジカル・ネットワーク」の図については、地図のネットワーク軸上の住民などに誤解を与えかねないため、すでにネットワークが形成されている他地域の事例などを示した方がよい。	修正いたします。
9	(コラム「エコロジカル・ネットワーク」に関連して)公園など規模の大きな緑地だけではなく、街路樹などにも着目し、地域在来の樹種を使うなどの取組をしてはどうか。	生物多様性に資する緑化の推進というところで、具体的な取組を示していきたいと考えています。
10	学校における環境教育の環境整備が整っていないと感じているがどのように考えているか。	学校教育だけに環境教育を任せるのは負担が大きいと考えており、環境行政として学校教育への支援に取り組んでいきたいと考えております。
11	生物多様性に関わる各主体の説明文が主体によりボリュームが異なるため、少ないところはボリュームを増やした方がよいのではないかと。	検討いたします。

No	主なご意見	事務局対応
12	成果指標について、生物多様性の質的な評価指標を入れられないか。例えば確認されているレッドリスト掲載種の種数(減っているかいないか) など。	指標値の測定の実現性なども含めて、検討いたします。
13	成果指標の「緑地率」について、30by30 といった目標も示されている中で、25%の目標値は低いのではないか。	緑被率やみどり率など、緑の豊かさに関する他の指標の採用も含め、再検討いたします。
14	農地面積の目標値が基準値より下がっており、後ろ向きな印象を受ける。	農地は可能な限り維持していくことが現実的な目標となっており、同様の目標値とされています。指標として採用するか再検討いたします。
15	水路による水のネットワークは府中の独自性であり、府中の生物多様性を考える場合には、この水環境を活かした街づくりを積極的に行うべきだが、そういう意識が見られない。	本市の財産である用水を利用した生物多様性の保全については、具体的取組を施策の展開に明記いたしません。
16	様々な施策がある中で成果指標が3つでは少ないのではないか。	基本方針2の取組全体の成果を推し量ることができる指標として案を作成しましたが、その他適当な指標がないか検討いたします。
17	レッドリストの作成は市民に危機感をもってもらううえで大変有用であると思うのでぜひ実行して欲しい。	調査方法など課題はあるが、実施すべきと考えており、取組として記載いたします。
18	子どもたちへの環境教育に関する取組内容については教育委員会とのすり合わせを行っているか。	取組については教育部局と協議しながら検討しております。

【第2回】

第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について

ア 内容

前回部会における素案に対するご意見を踏まえ作成した素案（修正案）について

イ 主なご意見と事務局対応

No	主なご意見	事務局対応
1	「生き物同士のつながり」の図に不正確な部分が残っており、修正が必要。	修正いたします。
2	「供給サービス」に関する説明が世界レベルだけの視点になっているので、地域からの視点も加えてほしい。	修正いたします。
3	基本施策 の個別施策 「緑環境と生態系」「水辺環境と生態系」が並列で記載されているが、緑環境は生態系と同じであり、生態系は削除してもよいのではないか。	修正いたします。
4	基本施策 個別施策 「主体間のつながりの創出」という表現に違和感がある。	包含する施策をまとめた表現として作成しており、個々の個別施策の内容をご覧いただくとご理解いただけたと思うが、引き続き他の表現も検討いたします。
5	「施策の展開」に示されている個々の取組を実施したかどうかはどのようにチェックするのか。	環境審議会における環境基本計画の進捗管理の中で、チェック機能を働かせていただきたい。
6	「施策の展開」にて市以外の主体の取組を「～します」としているが、やらせるという意味か。期待する行動として記載するのなら、そのような意図を注釈として加えてはどうか。	各主体に期待する行動を示したものであり、意図が伝わるよう注釈を加えます。
7	「4つの危機」の「外来生物」に関する説明と写真が一致していないが統一すべきである。	修正いたします。
8	コラム「エコロジカル・ネットワーク」の図については、点のつながりしか見えないが、網の目のようなつながりを表現すべきである。	修正いたします。
9	指標「東京都レッドリスト掲載種数」について、レッドリストが見直された場合はどうするか、掲載種が増えることは必ずしも良いこととは言えないのではないか。	掲載種の増加ではなく、現時点で市内で確認されているレッドリスト掲載種が将来の時点で残っているか否かを測るものであり、誤解のないよう記載の仕方を検討いたします。

No	主なご意見	事務局対応
10	基本施策 個別施策 「生き物空間の保全」の「生き物空間」という表現は正しいのか。	検討いたします。
11	「重点プロジェクト」について、武蔵台緑地を選定した理由は何か。これは決定事項か。	保全活動や普及啓発における利用など、基本方針2の取組の総合的な展開が想定しやすい環境であるため事務局案として作成したものです。
12	全体的に説明が小さいなど、読みにくい部分があり、修正が必要である。	現在の案については読みやすさに課題があると認識しており、修正を行ってまいります。
13	「重点プロジェクト」の設定意図は何か。予算の確保のためか。	予算確保のためということではなく、市の現状、課題をふまえて特に注力すべき取組を示すものである。
14	国分寺崖線は、国の「自然共生サイト」制度のモデル調査地区候補ともなっており、国等との連携の可能性などもあると思われ、重点プロジェクトの候補地としてふさわしいと思う。	承知しました。
15	「重点プロジェクト」の「目標」の記載順序が基本施策と異なるので揃えた方がよいのではないか。	検討いたします。
16	「重点プロジェクト」目標 「生態系の保全」は植生保全のみとなっているが、動物も含めた生態系全体の保全として欲しい。	保全管理ガイドラインに基づく植生保全を中心に考えているが、動物の生態系の保全にも取り組みます。
17	武蔵台緑地と同様に重要な府中崖線の西府エリアについて、市は保全には取り組んでいるのか。	大変重要な緑地と認識しており、市民団体が継続的に保全に取り組まれていることを承知しております。また、近年、市においても生態系に配慮した緑地管理を導入するなど、官民協力して保全に取り組んでいます。

以上